

パワーリフティング関係者各位

技術委員会 委員長 二宮正晴

令和3年標準記録についての説明

標準記録の変更について説明いたします。

クラシックベンチプレス、クラシックパワーリフティングの選手が近年増加し、全日本選手権の大会規模が大型化し、一つの都道府県協会で開催する事が難しい状況となりました。

既にフルギア大会に加えクラシック大会が作られたため全国大会数が倍加しており、更に出場選手数が増大するクラシック大会が分離開催となりつつあるため、全国大会を主管する協会数が年々増加、開催地の選定が従来以上に困難になって参りました。9月1日に行われたブロック長会議におきましても大会規模の適正化を求められています。

この状況に鑑み、大会の巨大化が続いているクラシック部門において、大会出場選手を精鋭化する事が良いとの理事会決定に至りました。

クラシックパワーリフティングにおいてはマスターズ部門はマスターズ週間で開催されるために別としても、サブジュニア、ジュニア、オープンのカテゴリーで合計200名、クラシックベンチプレスにおいては全カテゴリー合計で300人を目標にいたしました。

金曜日開催は学生には影響が大きく、社会人においても歓迎されません。さらに審判、補助員、役員の確保にも困難があるため、土日で出来る限り開催したいと考えており、これも大会規模の適正化を企図した理由です。

この標準記録にて、一部フルギア部門とクラシック部門の標準記録がクラシックが上になっている場合がありますが、これは大会参加者数に特に注目して標準記録を設定したためです。

クラシック部門の選手に置かれましては厳しい標準記録となりましたが、是非新標準記録を破り、全国大会に出場されることを願ってやみません。

以上、ご理解の程、宜しく申し上げます。